

施工留意点

ミライア

- COOLミライアはまとめて開梱せず、1枚ごとに切断・取り付け直前に開梱してください。
- 保護手袋は汚れないものを使用してください。持ち運びや取り付けの際には、傷付けないよう十分に注意してください。

COOLミライアの切断

- ニチハ外装用カッター(オールダイヤモンドチップソー)を使用することで、バリを最小にすることができますが、切断には十分注意してください。
- COOLミライアは、化粧面を下に向け、裏面側から切断します。
- 化粧面は発泡系断熱材など、柔らかいもので養生してください。固いものの上で切断すると、傷が付くおそれがあります。
- COOLミライアの保護フィルムは、付けたまま切断してください。
- 発泡系断熱材には切り粉が溜まります。エアダスターを使い、しっかり除去してください。
- 壁つなぎなどが壁面と接する場合は、表面に傷が付かないよう柔らかい布などで養生してください。

COOLミライアの補修

小口(シーリングしない切断小口)

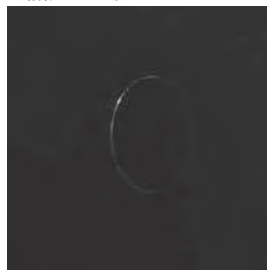
- シーリングしない切断小口は、モエンシーラーを塗布し乾燥後、見え掛かりとなる部分には小口専用補修塗料を塗布してください。見え掛かり以外の部分は、再度モエンシーラーを塗布してください。

ビス頭(補修シールの使用方法)

次の手順で補修します。

- 1) 先孔をあける(保護フィルムを剥がさずに行います)
- 2) 皿きりを使い、ビス頭の直径よりも1mm程度大きく座堀りする(保護フィルムを剥がさずに行います)
- 3) ビス留めする(保護フィルムを剥がさずに行います)
- 4) ビス頭周辺の保護フィルムを剥がす
- 5) エアダスターを使い、切り粉を吹き飛ばす
- 6) 補修シールを貼り付ける(※補修シールは、平滑に見えるよう貼り付けてください。ビス頭部が凹まないよう気を付けてください。)
- 7) 保護フィルムを戻す(※保護フィルムは、折り曲げないでください。折れ目が付いた保護フィルムを戻すと化粧面に線が出るおそれがあります。)
- 8) 状況に応じて、補修シールが目立たないよう加工してください。

■補修シール施工イメージ



※角度や光の当たり方により目立つ場合がございます。

シーリング工事

- 付着力の強いマスキングテープを使用しないでください。カモ井加工紙株式会社品番:SB246を推奨します。
- マスキングテープの糊が残った場合には、お湯または水を含ませた柔らかい布で糊を濡らして、柔らかくさせながら拭き取ってください。

COOLミライアの取り扱い

- 製品の表面を、簡易的に保護する目的で貼られている保護フィルムは、施工後できる限り早めに剥がしてください。
 - 保護フィルム除去後、ちり・ほこり・手垢汚れが付いてしまった場合、1)ちり・ほこり、2)手垢汚れの順に取り除きます。
- 1) ちり・ほこりはエアダスターを使い、しっかり吹き飛ばしてください。
 - 2) ちり・ほこりが残っていないことを確認した後、手垢汚れを柔らかい布で拭き取ります。汚れが残る場合には、中性洗剤と柔らかいスポンジで洗い流してください。